

## 水道事業に関する審議会第5回審議会会議録

平成18年8月29日(火)

1 片寄水道局長、資料1により、生活用口径13mm料金の改定案比較表について説明。

2 障子簡易水道課長、資料2により膜ろ過設備の比較説明。

3 審議の内容概略

- ・口径20mm料金が低いという石飛氏の意見に対し、良い回答があるか。
  - ・口径13mmと20mmの流量比はいくらか。(和泉利男委員)
- (水道局回答)
- ・全国的に85%が、口径13mm料金と異なっている。流量も多い。あとは、生活用。
  - ・流量比2.5です。

口径13mm、口径20mmの件だが、口径20mmは、アパート等自分の都合だけではないので政策的に配慮できないか。

- ・技術的にメーター周りを口径20mmから口径13mmに変更できないか。
- ・口径20mmの70%が家庭用なら生活水の低減化できないか。
- ・大東、掛合は用途別だから口径のこだわりは無かった。2.5倍の認識はない。

(石飛郁輔委員)

(水道局回答)

- ・口径13mmに交換できます。
- ・70%の他に自己都合80戸、アパート・促進住宅等は20mm、掛合町は計画的につけていくところが多いが、口径を小さくすることは可能です。
- ・考慮してみたい。次回、回答します。

・膜ろ過設備のランニングコストだが、久野が120m<sup>3</sup>で400万円、吉田が400m<sup>3</sup>で300万円と久野が高い。久野の選定を考え方と今後の方向を問う。メーカーは甘いことを言うので、厳しくチェックするように。(吉原邦行委員)

(水道局回答)

- ・原水の水質がよく、10年に1回で計画したが、ここでは5年を見込みました。

- ・料金説明を市民にしていないが、特に加茂町に対しての説明理由は？平準化の理由説明を要す。
- ・80%のところは料金が下がり、今後5年の運営ができるか。途中で値上げないか。
- ・総括原価費用を下げる努力はどうか。市は250人の職員削減予定だが、水道局削減の努力は？(和泉利男委員)

(水道局回答)

- ・加茂町は上がります。減価償却費、県水道受水、配水池整備、膜ろ過整備の設備投資をする。現在は安いが今後総括原価はかなり高くなっていく。
- ・大東町の料金収入は増えて、木次三刀屋は減る。市営業助成を見込み、5年のうち4年は黒字、5年目は赤字でその後値上げになります。
- ・市と同じく人件費5パーセントカット、工務二課は、水道局横にプレハブを建て引き上げる。加茂町も上水にして集中監視し、効率化経費節減したい。市も中期財政計画中で水道等、市から助成繰出すところは起債制限枠に入る。

- ・営業助成費778,947千円としているが、試算表で見ると、この額は総括原価4,527百万円に含まれるのではないかと。(石飛郁輔委員)

(水道局回答)

- ・ご指摘のとおりですが、資産維持費2分の1の159,656千円減額を含めて料金としているのでご理解いただきたい。

- ・10年間で、約100億円の設備投資は過大投資ではないか。見積もり額のチェック、主要事業、動力費、委託料等も高いのではないかと。企業努力、合理化努力をして削る。資産維持費のプラスも削る。プラスはつかみ金で10%が維持費で今247円が277円に上がる、5年もたない料金改定はない。(石飛郁輔委員)

(水道局回答)

- ・設備投資はコストダウンを図る必要がある。新しいものが出るまでなるべく後半に投資したい。
- ・資産維持費が無いと企業債元金を内部留保資金から使い食いつぶす。H17からH18にかけ建設仮勘定もあり減価償却もあがる、起債利息もぐっとあがる、60パーセントが利息と償却費です。

維持管理費についてはよく検討すべき。膜ランニングコスト、委託料も下げる努力。市民に理解してもらうためには企業努力の明示、人件費・物件費を抑え生産性を高める努力、数値・指標を示すべき。(石飛郁輔委員)

(水道局回答)

- ・そのように努力する。市民へも中期財政計画、水道ビジョン、経営状況、PI値を示し、公表していく。
- ・計画のなか、修繕料は率で計上、余れば引当金とする見積もりです。

毎月検針毎月徴収を隔月検針毎月徴収して経費節減を図るべき。(石飛郁輔委員)

(水道局回答)

- ・加茂市政懇談会で毎月検針の要望あった。下水道との連動もある。

検針は一定の日に行ってほしい。(和泉利男委員)

(水道局回答)

- ・ そのように努めます。

膜ろ過の選定だが、クリプト対策だけならMF膜でよいと思われるが。(堀江治之委員)

(水道局回答)

- ・ クリプト対策として、紫外線照射も認可され(地下水)考慮したい。

諮問の資料の料金表の従量料金190円、230円、250円の逓増制の根拠は。250円のコストの根拠は。原価費用、新規投資と限界費用に基づいて最大費を出すのか。

固定費は190円でわかる。230円、250円の根拠は?(石飛郁輔委員)

(水道局回答)

- ・ 基本料金で22,430万円円もらう、後は従量料金です。20~25m<sup>3</sup>の生活用を低く190円にした。

なるべく生活用を安く、水資源保護の観点から逓増制。限界費用は出していない。

- ・ 3町全体H17実績で0から8m<sup>3</sup>が912千m<sup>3</sup>で22,430万円が基本料金、従量504百万円の按分で、9から25m<sup>3</sup>が100万m<sup>3</sup>で190百万円、26から50m<sup>3</sup>が68万m<sup>3</sup>で156.9百万円、50m<sup>3</sup>以上が62.5万m<sup>3</sup>で156百万円。208円を超過料金で税込226円としたい。

県下で一番高い超過料金はいくらか。(石飛郁輔委員)

(水道局回答)

- ・ 調査して回答します。

出雲市の料金改定の例があるが、今回改正のアップ率はいくらになるか。

改定料金比較表で、各町と全体分の比較表を作成してほしい。(堀江治之委員)

(水道局回答)

- ・ 上水で4パーセント、簡易水道で12パーセント、併せてトータル5パーセントくらいです。

前日も言ったが、将来を考えて水源の調査、ボーリング、用地確保を10年間計画に入れて、見込んでください。(堀江治之委員)

(水道局回答)

- ・ コスト削減のなかで水源を確保していきたい。

次は、答申案を検討しなければ。(和泉利男委員)

ひとつの案を示して審議したら。

案取りまとめ委員として、会長、副会長、和泉、倉内、吉原の5名を選び、事務局を加わることにします。

事務局は意見をまとめ、分類しておくこと。

次回の審議会は、9月議会の後で調整する。

向こう5年間の市補助金、営業補助金、出資金、建設補助金、等を次回示してほしい。

(石飛郁輔委員)

(水道局回答)

・了解しました。